

相愛大学 伝統芸能コーディネーター育成プログラム 2020

受講料無料

昨年の「雅楽」に続き、今年度は「能」をモデルケースとして伝統芸能のコーディネーターを育成します。大阪に根づいた、伝統芸能としての能の歴史や特色を学び、そこに通底する宗教性や地域性への理解を深めるとともに、これからの舞台制作や魅力発信、支援方策についても考える機会を提供します。期間限定のオンライン配信です。どうぞご参加ください。

連続講座 [全8回]

<配信予定時期>

- [1] 能・狂言の物語世界と宗教性 —能におけるシテ・ワキの役割と視点から— 7月
釈徹宗（相愛大学人文学部教授）、山本章弘（公益財団法人山本能楽堂代表理事、シテ方）
安田登（能楽師、ワキ方）
- [2] 能と身体表現 8月
釈徹宗（相愛大学人文学部教授）、内田樹（神戸女学院大学名誉教授）
- [3] 能における舞台装置と道具 —能舞台・能面・装束に宿る記憶と美— 9月
山本章弘（公益財団法人山本能楽堂代表理事）ほか
- [4] 能における演目と舞台演出 —「神男女狂鬼」を通して味わう舞台— 9月
山本章弘（公益財団法人山本能楽堂代表理事）ほか
- [5] 能におけるプロダクションとマネジメント 9月
山本佳誌枝（山本能楽堂事務局）ほか
- [6] 伝統芸能の魅力と国際的な発信 10月
ペトコ・スラブフ（伝統芸能マネジャー）
- [7] 伝統芸能の発信と支援方策 —大阪における文化政策の持続可能性— 10月
中西美穂（大阪アーツカウンシル統括責任者）、志村聖子（相愛大学音楽学部准教授）
企画協力：大阪アーツカウンシル
- [8] 伝説「オルフェウス」の世界と舞台 —舞台芸術に表出する宗教観— 11月
大谷紀美子（インド舞踊家、相愛大学音楽学部客員教授）、山本章弘（公益財団法人山本能楽堂代表理事）
釈徹宗（相愛大学人文学部教授）、小野真龍（天王寺舞楽協会常任理事）

シンポジウム

- 「日本伝統芸能を繋ぐ地下水脈を探る～散楽・声明～」 (仮題) 12月
大倉源次郎（大倉流小鼓方十六世宗家、人間国宝）
藤田隆則（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター教授）
小野真龍（天王寺舞楽協会常任理事）
釈徹宗（相愛大学人文学部教授）

特別公演

- 新作能「古今東西物語～オルフェウス～」 (仮題) 2021年2月
山本能楽堂 ほか予定

受講をご希望の方は、QRコードもしくは下記URLよりお申込みください。

<https://www.soai-miyabi.com>



<お問い合わせ先>

相愛大学「伝統芸能コーディネーター育成プログラム」事務局

大阪市中央区本町4-1-23

音楽学部音楽学科アートプロデュース専攻

E-mail : miyabi@soai.ac.jp

TEL : 06-6262-0653

主催：相愛大学（雅Azureプロジェクト実行委員会）

令和2年度文化庁 大学における文化芸術推進事業

大学から



相愛大学は文化庁の支援をうけ、地域における文化芸術の振興に積極的に取り組んでいます。